

第7回気高地域学校統合準備委員会の議事概要

1 日 時 令和8年6月2日（火） 18：30～20：00

2 会 場 気高町総合支所

3 出席者 【委員】27名（欠席2名）

【事務局】教育委員会事務局6名、気高町総合支所4名

4 報告事項（委員からの質疑、意見…○、事務局説明、回答…●）

（1）部会の検討状況について（教育環境整備部会）

●部会リーダー及び事務局からの説明

○特別支援教室が2階にあるが、車いすの利用者等は、停電時はどのように避難するのか。一人でも避難できるように階段横にスロープ等はあるか。障がいのある方への配慮がある施設、という視点も持って進めていただけたらと思う。

●平常時はエレベーターを利用して移動、緊急時は教員が介助したり背負う等の対応になる。

○緊急時に車いすの子どもが一人で避難することは危険だと思う。また、日常生活において子どもたちがスロープで遊んでしまうことも心配。

5 議 事（委員からの質疑、意見…○、事務局説明、回答…●）

（1）気高地域学校統合準備委員会設置要綱の改正について

（2）委員について

（3）気高地域学校統合準備委員会の今後の進め方について

●事務局説明

○各地区公民館長は現在オブザーバーという立場だが、部会においても変わらないのか

●オブザーバーである公民館長について、今後委員として参加いただきたいと考えているので、各委員にご承認いただきたい。（→ 承認）

○（地原副委員長）要綱には部会が追記されているが、小委員会のことも要綱に記載した方が良いのではないか。

●統合準備委員会の下部組織として部会があるが、各部会は委任された検討事項を協議して方針を決定、統合準備委員会はその結果を尊重し、決定事項として取り扱うこととしている。小委員会は既存の組織等も活用しながら各内容を検討していくが、部会にまたがる内容の議論もあると想定している。

○要綱に各部会へ委任する検討事項が記載されていないのが気になる。資料4を見れば分かるが要綱に明記されていた方が良いのではないか。また委員会と小委員会という名称が分かりにくい。小委員会をチームなどと呼称しても良いのではないか。

●名称や要綱に記載する内容など、各表現についてはご意見いただきながら決めていきたい。体制の基本的な部分については、この内容で進めさせていただきたい。

○PTA組織・通学路検討小委員会はPTA役員を中心に構成とあるが、PTAも近年は委員加入や活動内容について議論されることもあり、そういうことをしっかり議論できるようにもうちょっと客観的に議論できる人が入った方が良い。放課後児童クラブの検討は保護者も入っても良いのではないかと思う。

●各小学校においてPTAの方と連携しながら通学路を検討すると聞いている。既存の検討する場を活用

しながら進めて行けたらと考えている。今後、校区審議室主導で小委員会の組織を作っていくが、このことも踏まえて、学校とも調整していきたい。放課後児童クラブについては、現行の運営主体とあり方を考えていき、その中で保護者の意見を聞く必要が出てくれば参加いただくことになる。

○部会体制は、今回承認されなければ進まないのか。また、今後の通学の検討において、部会で話し合うのも良いが、地域でさまざまな要望が出ていたりもするので、委員全員から意見を聞くのも必要ではないか。

●部会体制については前回の委員会で提案し、承認されているもの。通学路については、支所や通学路に関わる担当課といった行政の担当も参加するほか、学校で通学路について検討されている内容も踏まえながら検討していきたい。

○通学路の検討には地域住民や自治会等の見守りに関わっている方の視点も必要なので、そういった方や団体に話に入っていただくのも良いと思う。

○各委員にも地域にも情報共有をしっかりとしてほしい。地域等にも必要な協力を得られるような進め方をしてほしい。改めて、今回の新設統合小学校の特色を共有してほしい。

●ハード面では、1階に設置予定の地域交流ホールが特色の一つだと考えている。小学校を起点に気高地域の方が交流していく場としての活用を想定している。また、以前検討した教育ビジョンで目指す子どもたちの姿を示しているのもそういったところが特徴だと考えている。

○保護者・地域応援部会の欄だけ推進支援内容という表記があるが、その他の部会にはないのか。

●推進支援内容は小委員会との連携内容を記載している。現時点で他の部会には無いが、今後内容が出てくれば追記していきたい。

6 その他（委員からの質疑、意見…○、事務局説明、回答…●）

○他の部会が何を議論しているのか情報共有してほしい。また、各学校においては、開校の数年前から木材について学ぶなど、新しい学校を目指すような取り組みを共通して行っていたらと思う。

●そういった内容を学校創造部会で検討していただき、連携や情報共有しながら進めていきたい。

○今後は部会のリーダーのもとで検討をすると思うが、各部会で異なる日程で会議をしていくという認識で良いか。複数の部会に所属する委員は大変ではないか。

●部会は各推進内容について、それぞれで開催していく。部をまたがる内容が出てきたらその都度調整していく。なるべく委員の負担を減らすために、部会ごとに参加者を変更可能な運用にしたい。

○統合準備委員会の開催はどうなるのか。何カ月にも一度など委員会の日程を定めて、それに合わせて部会を開催していくということではないのか。

●統合準備委員会では部会の検討状況も共有していきたい。委員会の開催日程については、部会の検討状況を見ながら決定していきたい。

○進め方について、部会、小委員会がある中で、会議の開催ペースにもよるだろうが、各学校長など大変ではないのか。本当に出来るのか。

●過去に統合した学校の検討体制を参考にしてるので可能と考えているが、進め方については注意していきたい。既存の会議等も活用しながら、なるべく負担を減らすように進めていただきたい。

○部会員の變更等もできるようになっており、負担は分散できる体制だと考えている。